



令和 2 年 4 月 1 4 日

東広島キャンパス「平和の小道」の新設を記念して 被爆アオギリの苗木の植樹式を実施します

広島大学は、被爆から 75 年になる本年、広島市内に現存する被爆樹木から育てた苗木 23 本を東広島キャンパス内に移植し、それらを歩いて辿ることのできる「平和の小道」を新設します。それを記念して、被爆アオギリの苗木の植樹式を下記の通り行います。

記

日 時：4 月 2 0 日（月） 11：30～12：00 植樹式

場 所：東広島市鏡山 1-3-2 広島大学法人本部棟の東側
（法人本部棟入り口から東側へ 20 メートルの緑地帯）

参加者：本学学長 越智光夫
理事 佐藤利行
統合生命科学研究科特任教授 上 真一

： グリーンレガシー・ヒロシマ・イニシアティブ
共同創設者 渡部朋子氏
コミッティメンバー（樹木医） 堀口 力氏

【「平和の小道」計画の概要】

本学内には、東広島キャンパスと東千田キャンパスに各 2 本の被爆樹木（江波山サクラ）二世が存在するのみでした。そこで、より多くの被爆樹木の苗木を東広島キャンパス内に移植し、それらを辿りながら平和について思索できる「平和の小道」の設置計画を平成 28 年から進めてきました。被爆樹木の苗木はグリーンレガシーヒロシマから寄贈され、仮植えされて 3 年間東広島の気候に順応しました。被爆 75 周年の本年、10 種類（アオギリ、イチヨウ、エノキ、カキノキ、クスノキ、クロガネモチ、ソメイヨシノ、フジ、プラタナス、マルバヤナギ）合計 23 本の苗木を約 2km に亘って植栽します（22 本は植栽済み。植栽場所等は別紙地図参照）。多くの学生が「平和の小道」を散策し、被爆を生き延びた木々（二世）の逞しい生命力を実感し、平和について思いを巡らす機会にしてほしいと希望しています。



平成 29 年 4 月に仮植えされた苗木



令和 2 年 2 月に実施された苗木選別作業

【広島市内の被爆樹木（親木）と、東広島キャンパス内へ移植した苗木（被爆樹木二世）】



マルバヤナギ（爆心地から 740m、広島城二の丸跡）
共に令和 2 年 3 月撮影



移植したマルバヤナギ苗木



クロガネモチ（爆心地から 910m、広島城跡）
共に令和 2 年 3 月撮影



移植したクロガネモチ苗木

【被爆樹木とは】

爆心地から半径約 2 キロメートル以内で被爆し、生き残った樹木で、約 170 本現存しています。

今後も本学は平和教育、原爆犠牲者への慰霊、原爆の記憶の継承、について平和活動を継続して実施します。

【参考資料】グリーンレガシー・ヒロシマ・イニシアティブ ホームページ

URL <http://glh.unitar.org>

石田優子『広島の木に会いに行く』偕成社 2015 年刊

広島市公式ホームページ 被爆樹木リスト（平成 31 年 4 月 31 日現在）

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/atomicbomb-peace/9262.html>

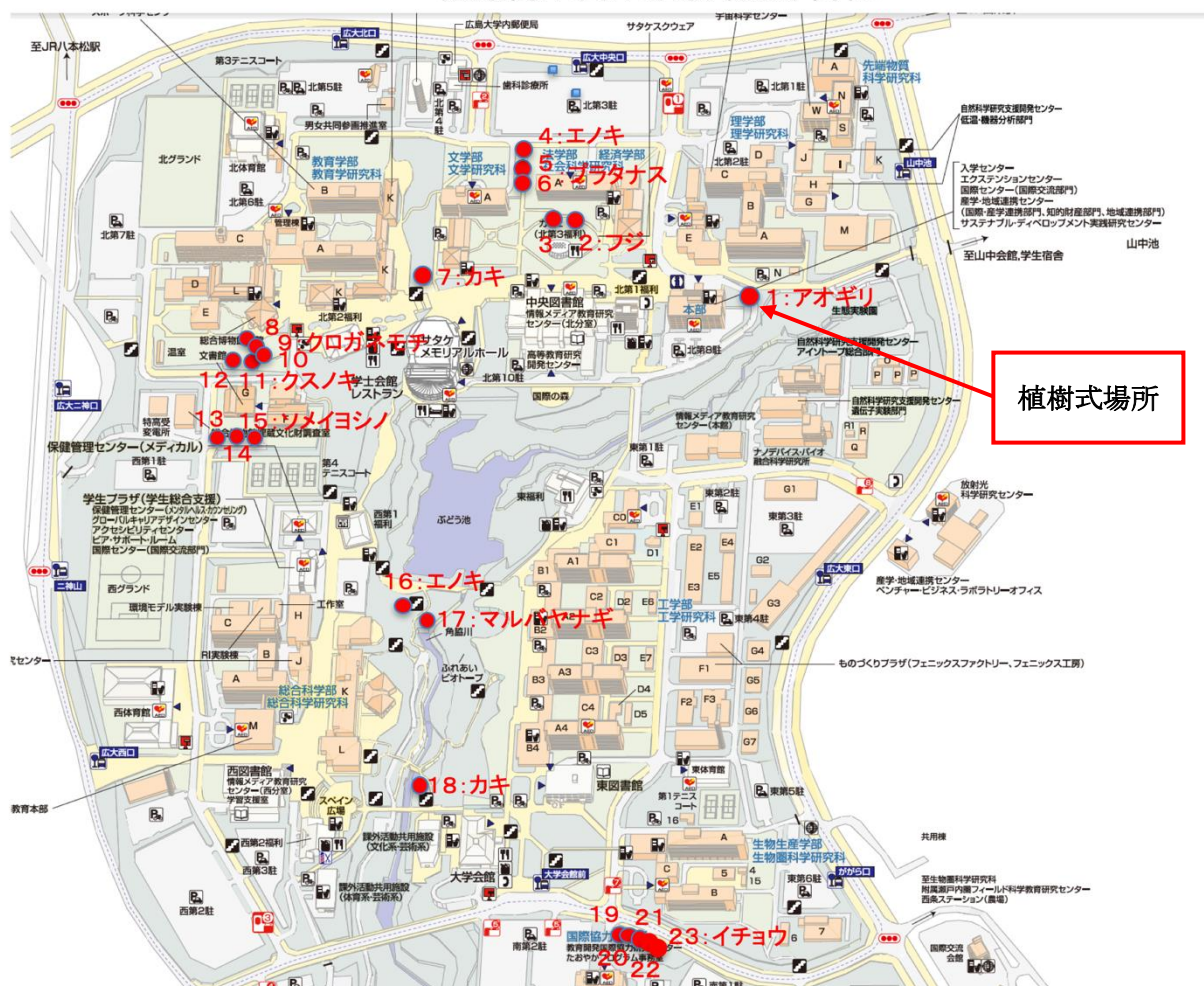
【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部 グローバル化推進グループ 嘉陽礼文

T E L : 090-1185-1620 F A X : 082-424-4545

発信枚数：A 4 版 4 枚（本票含む）

被爆樹木苗木植栽場所、樹種



(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

東広島キャンパス「平和の小道」の新設を記念して
被爆アオギリの苗木の植樹式を実施します

日 時：令和2年4月20日（月） 11：30～12：00 植樹式

場 所：東広島市1-3-2 広島大学法人本部棟の東側
（法人本部棟入り口から東側へ20メートルの緑地帯）
（集合場所 法人本部棟入り口内ロビー）

参加者：本学学長 越智光夫
理事 佐藤利行
統合生命科学研究科特任教授 上 真一

：グリーンレガシー・ヒロシマ・イニシアティブ
共同創設者 渡部朋子氏
コミッティメンバー（樹木医） 堀口 カ氏

☐ ご出席

☐ ご欠席

貴 社 名 _____

部 署 名 _____

ご 芳 名 _____（計 名）

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、4月16日（木）14：00まで
にご連絡願います。